

●はけの森美術館

1. 施設概要

はけの森美術館は芸術文化の享受に寄与することにより、市民の感受性及び創造性を高めるとともに、芸術文化活動への市民の参画を通じ交流の機会を提供し、もって本市の新たな芸術文化の創造及び振興を図ることを目的とした施設です。

はけの森美術館が目指すのは、市民参加・参画型の美術館、教育プログラムを充実させ、市民の芸術文化活動の拠り所となることです。年間 4 回程度の展示替を行い、コレクションの大部分を占める洋画家・中村研一の作品を紹介する所蔵作品展のほか、美術館の企画による特別展を年間 1～2 回開催します。

施設内では所蔵作品展及び企画展を行うとともに、展覧会関連講演会、ワークショップ及び教育普及活動（小学生の鑑賞教室、中学生の職場体験学習等）等を企画・開催しています。

（1）施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	備考
はけの森美術館	中町1-11-3	921.90	平成元	

（2）開館日・開館時間

- 開館時間：午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
- 休館日：毎週月曜日、年末年始、展示替期間
- 年間運営日数：208 日（平成 22 年度）

（3）観覧料

【所蔵作品展】

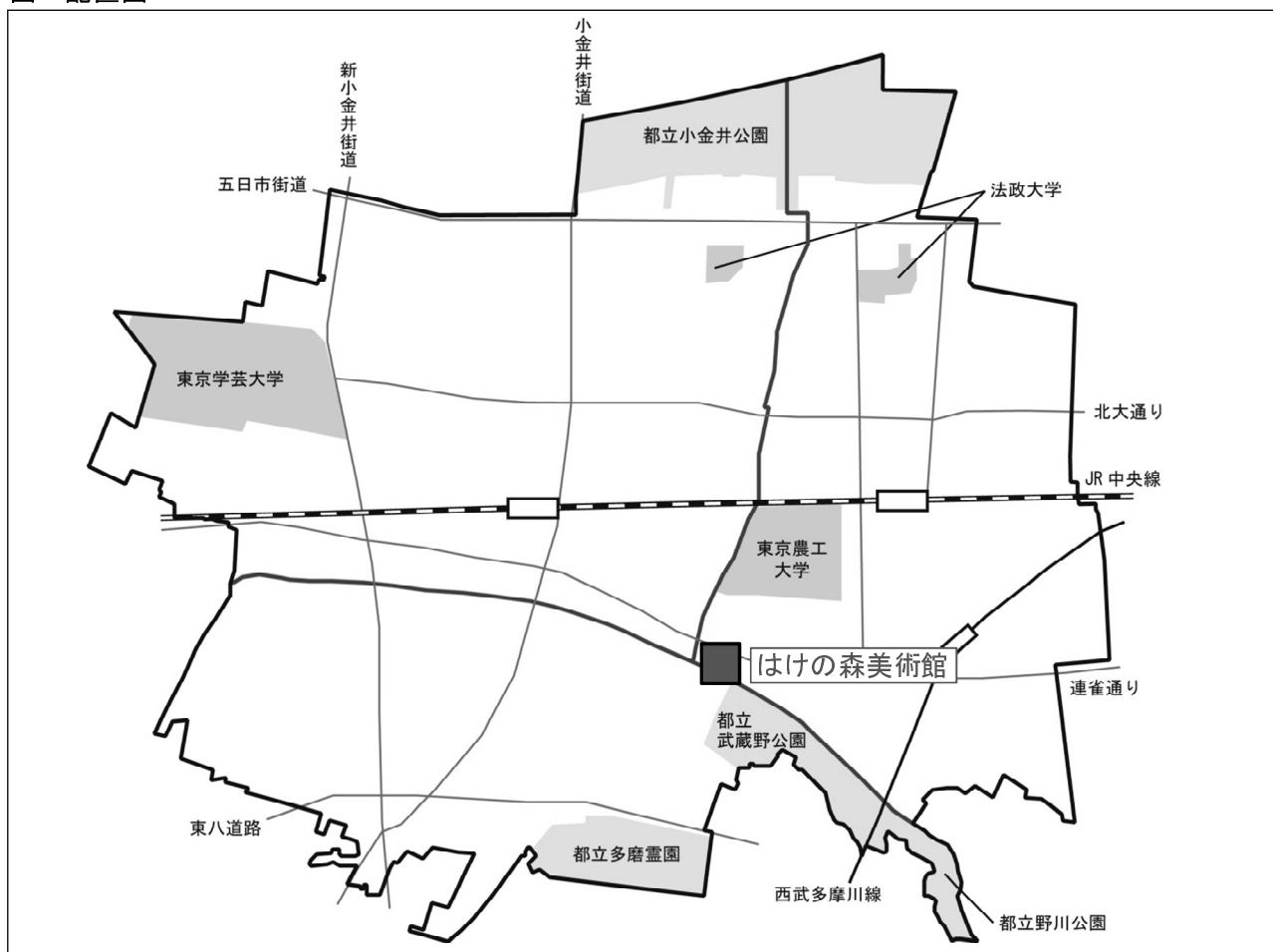
- 高校生以上 200 円
- 小中学生 100 円
- 未就学児・障害者手帳をお持ちの方及び付き添いの方 1 名は無料

【企画展】

- 随時

(4) 施設配置

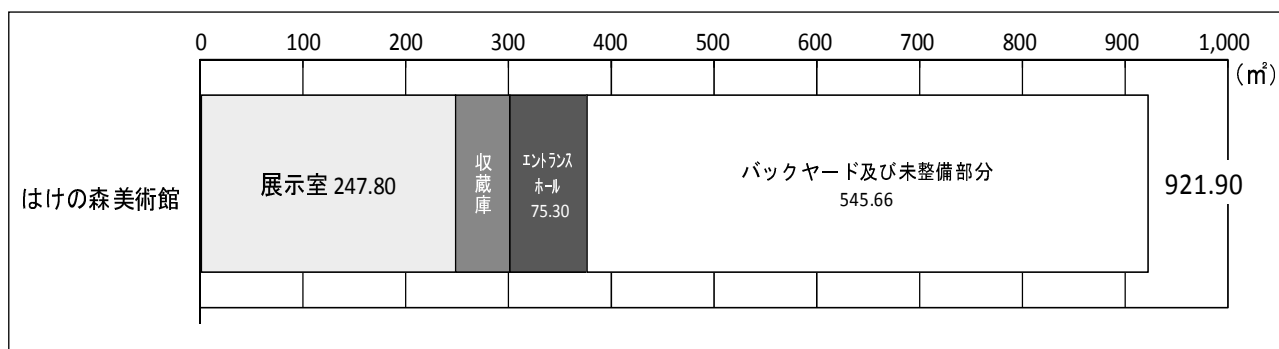
図 配置図



(5) スペース構成

はけの森美術館の延床面積は 921.9 m²です。スペース構成をみると、所蔵作品展や企画展を行う展示室 (247.8 m²) を中心とした施設となっています。他に事務室・収蔵庫といったバックヤードスペースの他、当館を寄贈された方が居住していたスペース (未整備なため非公開) や使用に制限のある作業室があります。元々の居住スペースは改修することにより教育普及事業等の利用スペースに変更することが可能です。

図 スペース構成 (平成 22 年度)



2. 実態把握

(1) 建物状況

はけの森美術館は新耐震基準の施設ですが、築20年以上を経過し、老朽化への対策が必要になっています。現在、当館を寄贈された方が居住していたスペースを教育普及活動用等に利用するスペースに改修する工事を行っています。

図 建物総合評価結果

評 価	パターン③ 今後 老朽化 ・老朽化が進行している。 ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設				
該 当 施 設	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">該当施設</td> <td style="text-align: center;">建築年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">はけの森美術館</td> <td style="text-align: center;">(平成元)</td> </tr> </table>	該当施設	建築年	はけの森美術館	(平成元)
該当施設	建築年				
はけの森美術館	(平成元)				
コ メ ン ト	・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。平成23年度から平成25年度に施設の改修を行う計画です。				

(2) 利用状況

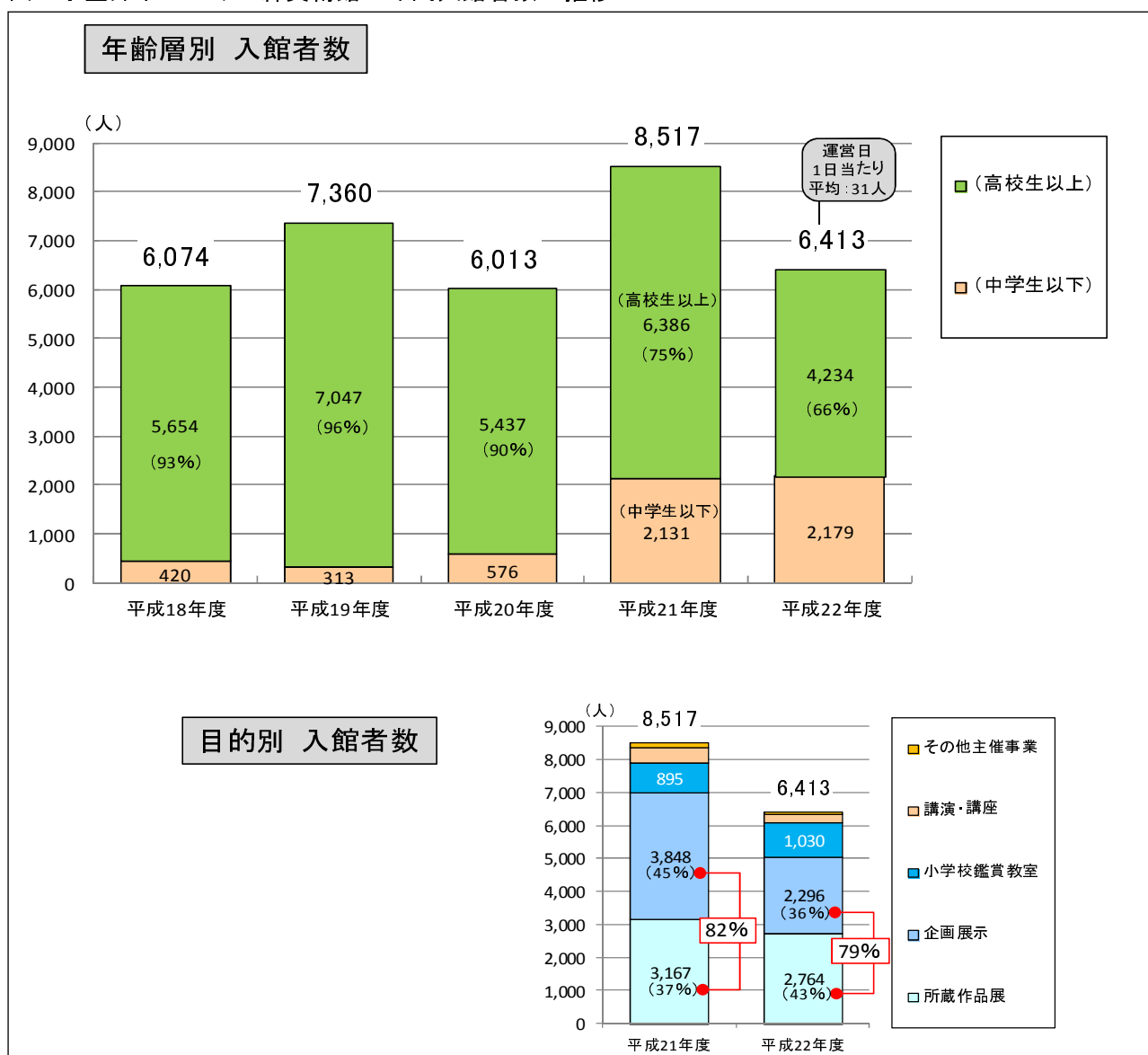
① 利用状況の推移

平成22年度の年間入館者数は6,413人で、運営日1日当たり平均約31人が入館しています。

下図の年齢層別入館者数をみると、約6,000人から約8,500人の間で推移しています。内訳をみると、高校生以上の入館が約66%から96%を占めており、高校生以上の入館が中心となっていることがわかります。また、平成21年度以降は小学校との連携事業により中学生以下の入館が増えています。

下図の平成22年度の目的別入館者数をみると、所蔵作品展の入館者数が2,764人と全体の約43%を占めています。また、企画展の入館者数が2,296人と全体の約36%を占めており、展覧会の入館者が全体の約79%を占めています。

図 小金井市立はけの森美術館の年間入館者数の推移



(3) 運営状況

① 運営人員

はけの森美術館は市の直営で運営しています。

運営人員は市の嘱託職員3人（平成22年度）、再任用職員1人及び臨時職員2人の計6人が従事しています。そのうち、施設の維持管理が再任用職員1人及び臨時職員1人の計2人です。

図 運営人員（平成22年度）

		(人)	
施設維持管理	市	再任用職員	1
		臨時職員	1
	計		2
事業運営	市	一般職員	0
		嘱託職員	3
		臨時職員	1
	計		4
合計	市	一般職員	0
		嘱託職員	3
		再任用職員	1
		臨時職員	2
	計		6

② 運営体制

はけの森美術館の運営体制は、週6日開館で嘱託職員3人及び再任用職員1人（以上週4日勤務）がシフトを組み、臨時職員（週3日勤務）2人が交代で従事しています。

図 運営体制（平成22年度）

	9:30 9:00	17:00 17:30
はけの森美術館 運営体制 (土日含週6日開館)	<div style="background-color: yellow; padding: 5px; text-align: center;">嘱託職員 3人(週4日勤務)</div> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; text-align: center;">再任用職員 1人(週4日勤務)</div> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; text-align: center;">臨時職員 2人(週3日勤務)</div>	
計 約6人		

(4) コスト状況

はけの森美術館の年間トータルコストは、2,839 万円です。内訳は、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託料等）1,142 万円（約 40%）、事業運営にかかるコスト（嘱託職員人件費・その他物件費等）1,697 万円（約 60%）となっています。

施設にかかるコストの内訳をみると、施設維持管理の再任用職員の人件費が 351 万円、光熱水費が 231 万円、清掃や警備、機械保守等の建物の維持管理に関する委託料が 204 万円及びその他物件費 235 万円等となっています。

事業運営にかかるコストの内訳をみると、嘱託職員人件費が 748 万円、その他物件費 573 万円等がかかっています。

平成 22 年度の年間入館者数とトータルコストから入館者 1 人当たりにかかるコストは、平均は 4,469 円/人となっています。

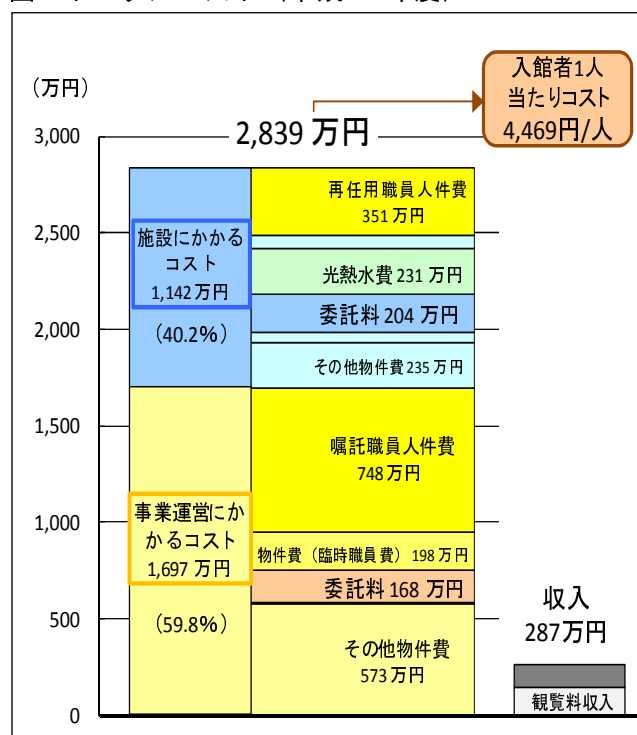
表 公共施設トータルコスト計算書（平成 22 年度）

I. 現金収支を伴うもの

(千円)

【コストの部】		はけの森美術館
施設にかかるコスト	一般職員人件費	0
	再任用職員人件費	3,515
	修繕料	728
	改修費	0
	光熱水費	2,307
	委託料	2,045
	使用料及び賃借料	482
	公有財産購入費	0
	その他物件費	2,347
	施設にかかるコスト	11,424
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	0
	再任用職員人件費	0
	嘱託職員人件費	7,483
	委託料	1,683
	使用料及び賃借料	92
	物件費(臨時職員費)	1,983
	その他物件費	5,729
	事業運営にかかるコスト	16,970
現金収支を伴うコスト 計		28,394
【収入の部】		
収入	観覧料収入	1,567
	諸収入	1,306
収入の合計		2,873
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	0
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		28,394
収支差額(ネットコスト)		25,521

図 トータルコスト（平成 22 年度）



■ 今後の課題

建物の耐震安全性・老朽化状況からみた課題

- 築 20 年以上を経過しており、今後建物の劣化等により、修繕等に費用がかかることが予測されるため、計画的な修繕・改修等の老朽化対策を検討することが必要です。

運営面からみた課題

- これまで市民参加・参画型の美術館及び市民の芸術文化活動の拠り所となることを目的とし、中村研一を中心とした所蔵作品展のほか、様々な企画展・特別展を行ってきました。現在、旧居宅部分の改修を進めており、今後は、改修後のスペースを有効に活用する必要があります。